

問

◎凍霜害、降雹被害に対する支援策について伺う

◎転換作物生産者に対する支援について伺う



坂本 政司 議員



降雹被害の新芽
茶色に変色している
(写真右)
凍霜害の被害に合った
茶園(写真下)



質問 本年4月の凍霜害、降雹の被害に対する農家への支援策について伺う。

町長 露地栽培農業は常に何らかの気象の影響を受けるリスクを持つているので、ある程度のリスクマネージメントが必要と考える。農業共済組合、農協営農指導部門と連携して茶農業共済への加入促進を考えている。茶については町の根幹をなす産業だと思うので、共済制度の掛け金の負

担についても積極的に対応して応援することが将来につながるかと考える。茶業を補完し気象リスクを回避する複合経営を推奨している。**質問** 茶価の低迷で共済の算定基準額が下がってきている。基準額の算定方法の見直しを働きかけていたかどうか、その点はどうか。**町長** 茶価が相当落ち込んでいる事実も承知している。国へも対応をお願いしているが町に合った基準を並行して作る必要があると思う。短期、中期的に考

えると共済加入の判断で農家のやる気がわかると思う。

質問 昨年並みの生産資材に対する支援をすの考えはあるか。

町長 単発的に対応するよりもっと効果のあるものも考えてべきで、3年、5年と続くような所得の安定につながる共済を検討したい。ただ、今後色々な数字がもつと詰まってくる可能性がある。その数字等も見ながら農協関係者とも相談し対処法を検討していきたいと思う。

質問 燃料費の高騰により製造コストが上がりが工場の経営が圧迫されている。重油代の支援はできるか。

町長 重油を使っているのが農家だけではない、観光の皆さんもボイラー等使っている。ある業種だけ支援するわけにはいかない。た

だ、検討課題という感じはするので担当課を中心に少し検討をし、良い方向で対応していきたい。

質問 転換作物生産者に対する支援について伺う。

町長 農産物集出荷事業、特産物振興事業補助金、など各種事業を利用する農業者、団体が増加している。農業センターにおいても、特産化を目指した苗の育成などで支援体制強化していきたい。

質問 特産物振興事業における補助対象面積の条件緩和はできるか。
町長 農業として新しい作物を開発する人と家庭菜園程度の人とを同列には扱えないが、検討課題として担当課と協議する。

質問 畑作で使うトラクター等の補助事業はあるか。
町長 県単の補助があ

る。町としてもつけやすいことになるのでその方向で進めていく。

答

- 一時の金銭よりも、将来につながる共済制度加入促進、掛け金負担の応援で対処
- 農産物集出荷事業、特産物振興事業補助金制度、農産物栽培促進事業、特産化に向けた特定事業等により支援体制強化



中澤 莊也 議員

問

- ◎ユネスコエコパークの拠点はどこに
- ◎茶茗館における飲食の提供は
- ◎集会所等への非常用電源設備等の設置は

質問 ユネスコエコパークの理念実現について伺う。

①地域住民への理念等の周知、啓発について
②エコパーク登録を活用した地域の活性化と拠点整備について③次代を担う子供たちへの環境教育について

町長 ①まず、住民にエコパークとは何かを理解していただき、自分たちが世界的に認められた地域に住んでいることに誇りを持ってもらうことが重要である。

商工観光課長 DVDを媒体としてより多くの方にエコパークの理念を伝えていく。

町長 ②自然体験フィールドの提供やエコツーリズムのさらなる充実、推進、地域の農林生産物のブランド化に取り組んでいくことが重要であると認識している。

さらに、資料館やまびこ、南アルプス山岳図書館、茶茗館等をエコパークに関する情報発信拠点と位置づけ、検討会議において検討協議し、今後のより適切な対応を図っていきたいと考えている。

教育長 ③地域に密接した環境教育の必要性は痛感している。子供向けの教材については今後の検討課題である。

町長 ③魚(アユ・ヤマメ等)の放流を学校ぐるみでやったら環境に対する意識はもっともつと高まるだろう。カー体験をとおしての環境教育にも取り組んで行きたいと思っている。

この美田
"母なる川 大井川の恵み"



質問 茶茗館(道の駅)の活性化について①茶茗館の管理運営について②飲食の提供について③災害時の避難場所としての活用について

町長 ①現在シルバー人材センターと単年度の管理業務委託契約書を締結しているが、今後行革の答申を踏まえ当該施設の在りかたを再検討するとともに、現状に即したより良い施設の運営管理が図られるよう、様々な方面から意見をいただき、検討していきたいと考えている。

②現時点での飲食提供には多くの課題がある。今後、当施設の在り方を検討する中で、飲食提供についても協議していきたい。

③現在、県の手により非常用トイレ、非常用発電機、情報提供設備の設置が進められている。

質問 防災拠点の機能

充実について①集会所等への非常用電源設備の設置及び②自主的に非常用電源設備等を設置しようと考えている自治会等への支援について。

町長 ①②太陽光発電設備や蓄電池などは防災用資器材整備事業費補助金の交付要綱メニューには入っていないが、各区長には、太陽光発電設備と蓄電池を同時に設置することを条件として、集会所

大規模修繕に合わせた補助をすると、以前に通知をさせていただいている。太陽光発電設備や蓄電池は、災害時はもちろんのこと、環境の分野においても有効な設備と認識しているが、まだまだ高額な設備費用等が掛かり各

地区の負担も大きくなることから、今後の普及率を見極めながら、補助金の内容について

答

- 資料館やまびこ、南アルプス山岳図書館等を検討
- 施設の在り方の中で協議
- 今後の普及状況を見きわめ、町の効果的な支援を検討したい

の見直しを含め、検討を進めて行きたいと考えている。